

移住・交流でかぎしまの魅力 再発見!

# かぎしまで暮らす。

温暖な気候に恵まれ、特色ある島々など美しく、豊かな自然にあふれる鹿児島県。生産量日本一を誇る豚・肉用牛などの畜産物をはじめ、ブリやカンパチなどの水産物、さつまあげや本格焼酎など、個性ある食文化も魅力です。

本県の人口減少が進む中、魅力あふれる特性を維持しつつ、更なる発展のためには、県外からの移住者を受け入れ、地域の活性化を図ることが必要となっています。

そのような中、県では、平成28年3月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、平成31年までの県外からの移住者を3,000人確保することを目標とし、県と市町村が一体となって、さまざまな取り組みを行っています。

## 移住・交流の促進が急務!

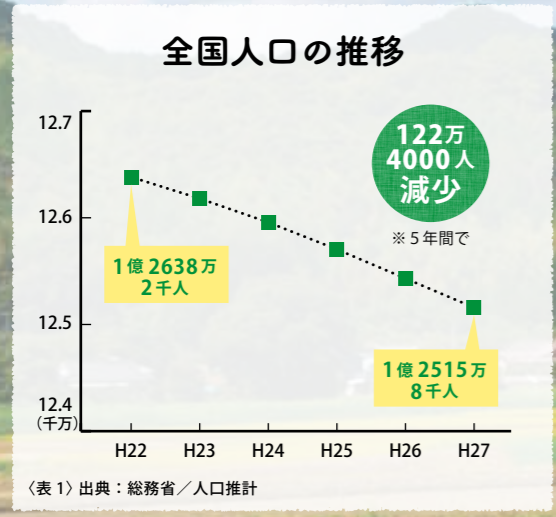
人口の減少は、働き手の不足や集落機能の低下など、地域活力の衰退を招く大きな要因となります。

現在、地方では、若年層を中心とした都市部への転出者数が、域外からの転入者数を大きく上回る状況にあり(表3・表4)、この状況に歯止めをかけ、都市部からの移住・交流を促進させることが喫緊の課題となっています。

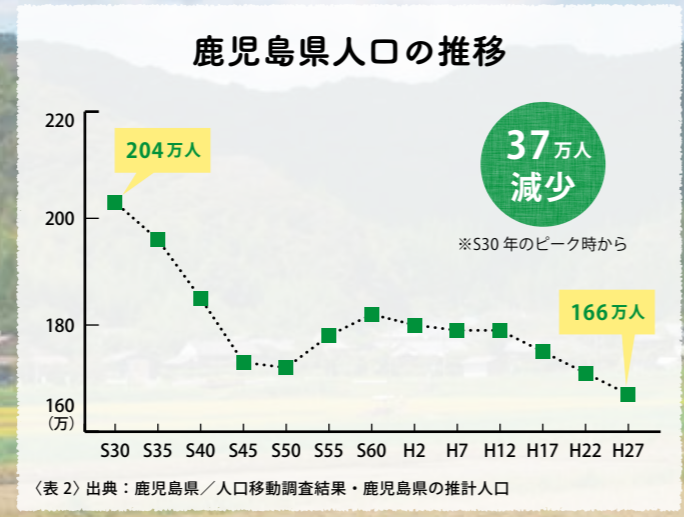
## 我が国・本県の人口の推移

我が国の人口は、戦後一貫して増加してきましたが、少子化の進行もあり、平成23年に減少に転じ、年々その減少率が大きくなっています(表1)。

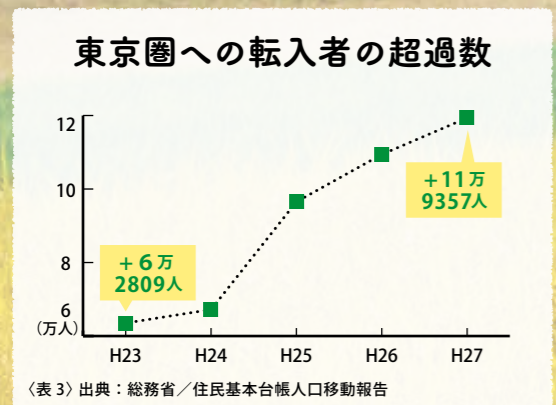
このような中、本県の人口は、昭和30年の204万人をピークに一時期を除き、減少傾向が続いており、平成27年10月時点で約166万人となっています(表2)。



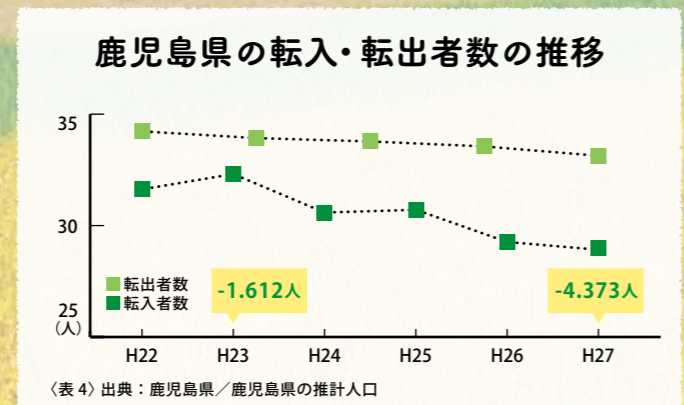
〈表1〉出典：総務省／人口推計



〈表2〉出典：鹿児島県／人口移動調査結果・鹿児島県の推計人口



〈表3〉出典：総務省／住民基本台帳人口移動報告



〈表4〉出典：鹿児島県／鹿児島県の推計人口



兵庫県から日置市に移住した中間さんご夫婦

豊富な  
移住体験  
メニュー!

## 移住・交流に関する相談窓口

### 人と地域をつなぎます

首都圏で、鹿児島県へ移住を希望される方のご相談に応じています。

最近の傾向として、20～40代が「子育てしやすい、温暖で暮らしやすい地域」を目指して、移住する流れが生まれています。

暮らしにいつも癒しがある鹿児島での、新たなスタートを全力で応援します！

### UITターン大歓迎

UITターンの方を中心に、企業と就職希望者とのマッチングを行っています。

当室が案内する求人は、勤務地は県内のみで、かつ正社員の雇用です。紹介は無料で、これまでの利用者数は延べ約1,400人！UITターンをお考えの方、ぜひご利用ください。

### 就農の夢を応援

新規就農相談の総合窓口として、新たに農業を始めたい方への技術研修や支援施策、さらに農業法人への就職の紹介など、さまざまなアドバイスを行っています。

本県は、農業産出額が全国3位と有数の農業県。受け皿がしっかり整っているため、多くの新規就農者が育っています。

首都圏  
在住の方、  
何でもご相談  
ください!




移住・交流相談員 川口 塔子さん

企業との  
マッチングで  
働き方を支援します




ふるさと人材相談員  
水流 匠さん 有元 沙耶香さん

農業への  
橋渡しを  
サポートします




就農アドバイザー 南園 寛さん


**NPOふるさと回帰支援センター**  
東京都千代田区有楽町2-10-1  
東京交通会館8F  
☎080-7731-7915 (直通) 連載中/  
☎10:00~18:00 (休)月、祝、年末年始  
コラム「移住相談員だより」…▶



**鹿児島県**  
ふるさと人材相談室 (職業紹介)  
鹿児島県庁10F 雇用労政課内  
☎0120-445-106  
鹿児島県ふるさと人材相談室HP▶



**鹿児島県**  
農業・農村振興協会  
鹿児島県庁11F  
☎099-213-7223  
鹿児島県新規就農相談所HP▶



この他にも、県庁内には移住希望者から相談の多い、住宅などに関する相談窓口を設置しています。

分野	相談窓口	連絡先	業務内容
住宅	県庁 建築課 住宅政策室(県庁15F)	☎099-286-3735	県営住宅の紹介
	県内各市町村の役場	各市町村役場	空き家を希望する方に、空き家の売却や賃貸を希望する所有者を紹介
林業	(公財)鹿児島県林業担い手育成基金	☎0995-54-3131	林業就業相談や各種研修制度、林業に関する無料職業紹介
	県庁 森林経営課(県庁13F)	☎099-286-3357	
漁業	鹿児島県漁業就業確保育成センター 県庁 水産振興課内(県庁10F)	☎099-286-3437	漁業就業相談や漁業就業に必要な技術研修などの紹介



かごしま移住お役立ちサイト /

かごしまで暮らす 検索



問い合わせ先 県庁 地域政策課 (県庁7F) ☎099-286-2424

## 市町村の取り組み

移住者の確保に向け、県内の43市町村すべてが移住相談窓口を設置し、地域の実情に沿ったさまざまな取り組みを行っています。

### ■主な取り組み

移住希望者を対象にした体験ツアー、農家民泊、短期滞在用住宅の提供、移住者向け住宅の整備、空き家の紹介、農林水産業の研修制度。

また、地域おこし協力隊員の募集・任用を行っている市町村もあります。



## 県の取り組み

移住希望者に鹿児島県内の市町村を選択していただけるように、県では、さまざまな手段を通じ、各市町村の情報提供、常駐の移住・交流相談員の配置やセミナーの開催などを行っています。

### ■相談窓口の設置

東京のふるさと回帰支援センター内に、本県の移住・交流相談員を配置

### ■移住希望者への情報発信

- ①43市町村の情報や定住促進対策を盛り込んだ「移住・交流ガイドブック」の作成・配布
- ②「移住・交流ウェブサイト」で本県の移住情報や先輩移住者の体験談などを紹介
- ③東京都、大阪府、名古屋などで「移住・交流セミナー」を開催



移住・交流ガイドブック

### ●県主催の「移住・交流セミナー相談会」などの開催予定

期日	地域	場所
H28/9/18(日)	東京	ふるさと回帰支援センター
H28/10/8(土)	名古屋	ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
H28/10/9(日)	大阪	大阪産業創造館
H28/11/13(日)	東京	ふるさと回帰支援センター イベント：山口・九州・沖縄地域おこし協力隊&移住フェア
H28/12/18(日)	東京	移住・交流情報ガーデン
H29/2/12(日)	東京	ふるさと回帰支援センター
H29/3/12(日)	東京	ふるさと回帰支援センター

※開催日は変更になる場合もありますので、事前にご確認ください。  
※特に表記のないものは「移住・交流セミナー相談会」です。  
【問い合わせ先】県庁 地域政策課 ☎099-286-2424



移住者の雇用相談では、じっくりと話を聞き企業とのマッチングを行う



首都圏の移住セミナーでは、鹿児島への関心の高さが伺える

## 移住者増加中！

本県への移住者は近年増加傾向にあり、平成27年度は**604**名。  
地域おこし協力隊員は、25市町村において**84**人が活動しています。

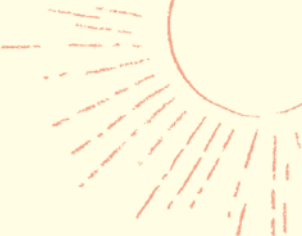


行ってよか!  
住んでよか!

# ~かごしま 移住者の

# 移住の魅力~ リアルライフ

県内の各地に移住した方々から、リアルな声を聞きました!



グリーンツーリズムで頰娃の魅力を発信



南薩  
エリア

## 自分の居場所がある幸せ

頰娃おこそ会のメンバーと福澤さん(右端)



観光業 (NPO 法人頰娃おこそ会)  
福澤 知香さん  
鹿児島市 ▶ 南九州市

**お**茶が大好きで、茶摘みの時期には町のお茶工場から漂う香ばしい香りがたまりません。頰娃おこそ会の活動に共感し、母の故郷でもある頰娃をいつまでも「帰りたい場所にしたくて、移住を決意。一人暮らしですが、近所の方がいつも気にかけて下さり、寂しさは感じません。自分の居場所があるのはうれしいですね。  
主に、古民家の再生に取り組んでいます。今は築100年の元お塩屋さんの家などを再生中です。生まれ変わった古民家で、バーを開いたり、朝ごはん会を開催して、交流拠点にしています。まちの中に「場」があると、新たなチャレンジが生まれ、その可能性にワクワクしますね。  
次は、頰娃の特産であるお茶をいかした茶店や宿泊場所として、再生した古民家を地域のビジネスにつなげていきたいです。



安心・安全な野菜づくりにこだわる



鹿児島  
エリア

## 夫婦で叶えた就農の夢

農業や化学肥料を使わずに育てています



農業  
中間さんご夫婦  
兵庫県 ▶ 日置市

**祖**父母が暮らしていた土地で就農したいと、8年前に移住。農作物に使われる農薬などの悪影響を知り、自分の手で、無農薬の野菜を作ろう!と思ったことがきっかけでした。生活は180度変わりましたが、不便に思ったことは一度もありません。  
有機農業研修支援センターなどで有機農業を勉強し、今では、生産した野菜を有機生産組合をはじめ、地元の販売所にも、少しずつですが出荷できるようになりました。日々の手入れは大変ですが、消費者からの「野菜本来の味がして美味しい」というお声が届きつつあります。  
鹿児島は農業が盛んですが、最近では日置市でも有機農家がが増えてきました。これを自分たちの代で終わらせることなく、後継者を育てていくことが、これからの目標ですね。



地域の人と鳥獣(シカ)駆除



離島  
エリア

## 離島でスローライフを満喫

「島の美しさをもっとPRしたい」と語る高井さん



地域おこし協力隊  
高井 和道さん  
愛知県 ▶ 西之表市(種子島)

**前**職は新聞記者で、全国を転動しながら地方取材してきました。少子高齢化の影響で地方の元気がなくなっている現状を心配していた矢先、地域おこし協力隊の活動を知り、ぜひやってみたいと選定年で思い切って退職。今春種子島へ移住しました。  
島の人はおらかで人懐こい! その笑顔にいつも癒やされます。種子島は昔から「移住の島」といわれ、島の人は自分たちが苦労した分、移住者に優しいです。都会のような便利さはありませんが、むしろ不便さを楽しもうにしています。  
地域の行事に積極的に関わり、地域の方と交流していると、地域の課題も見えてくるようになります。協力隊の任期は最長3年ですが、任期が終了しても「島人・海人」として認められればうれしいですね。



杉を育てるため除草も欠かせない



大隅  
エリア

## 大自然が仕事の舞台

杉林の中で汗を流す佐藤さん(右)



林業  
佐藤 耕一さん  
神奈川県 ▶ 鹿屋市

**出**張で以前、九州を訪れた際、特に文化・方言が独特な鹿児島に興味をもったことがきっかけで、特に自然の豊かな大隅に惹かれて移住しました。以前はコンピュータのSEでしたが、身体を使って自然環境に貢献できる仕事に憧れ、林業の盛んな鹿屋市で仕事に励んでいます。  
チェーンソーでの危険な作業も多く、常に山中を移動するので体力も心配ですが、今は大自然の中で働くことに、やりがいを感じています。大隅は人の流れが少ない分、山や海がとても美しいです。山での作業中に、山頂付近から雄大な錦江湾や開聞岳が見えた時は感動しますね。  
移住を決めるにあたっては、選んだ土地で臨機応変に対応できることが、その土地でうまく暮らしていく秘訣かもしれません。